定例理事会・定例総会

2019年3月22日開催

（内容書類一覧）

理事会・総会　議事次第

2018年度　事業報告・収支決算

2019年度　事業計画案・収支予算案

理事選出資料

定款変更資料

会費改定案

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

定例理事会・総会

日時：　2019 年 3 月 22 日（金）　18:30～19:50

場所：　メリルリンチ日本証券株式会社　セミナールーム

（東京都中央区日本橋 1-4-1　日本橋一丁目三井ビルディング）

在籍：　理事 18 名（2018 年 12 月 31 日時点）＊理事会成立定足数：10 名

会員総数：118 名（2018 年 12 月 31 日時点）＊総会成立定足数：40 名

議 事 次 第

１．　開会宣言

２．　会長挨拶

３．　議長選出と議事録署名人選出

４．　定足数の確認

５．　議事　　【資料 No.1～12】

（１）　2018 年度事業報告審議（理事会・総会議決事項）　【No.1】

（２）　2018 年度収支決算審議（理事会・総会議決事項）・監査報告　【No.2～7】

（３）　2019 年度事業計画案審議・報告（理事会議決・総会報告事項）　【No.8】

（４）　2019 年度 収支予算案審議・報告（理事会議決・総会報告事項）　【No.9】

（５）　理事選出議案（総会議決事項）　【No.10】

（６）　定款変更議案（総会議決事項）　【No.11】

（７）　会費改定案（理事会・総会報告事項）　【No.12】

６．　閉会宣言

事 業 報 告 ・ 収 支 決 算

自　2018 年 1 月 1 日
至　2018 年 12 月 31 日

事　業　報　告　書

財　　産　　目　　録

賃　借　対　照　表

活　動　計　算　書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム

2018 年度　事業報告書

2018 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、また役員、運営委員による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げることができた。

１．会員動向

2018 年度の会員在籍数と入退会状況は以下の通りである。
・法人会員…入会 6 社、退会 1 社。
・個人会員…入会 10 名、退会 11 名。

種　別※1	期　首	入　会	退　会	期　末
金融機関（Ⅰ）	6	0	1※2	5
金融機関（Ⅱ）	0	0	0	0
金融機関（Ⅲ）	9	4※2	0	13
金融機関（Ⅳ）	0	0	0	0
一般企業	10	1	0	11
公的・中間機関	10	0	1	9
NPO/NGO	4	2	0	6
個　人	75	10	11	74
（内、学生）	(5)	(0)	(3)	(2)
合　計	**114**	**17**	**13**	**118**

※1 金融機関の分類
・金融機関（Ⅰ）…金融ホールディングカンパニー及び以下（Ⅱ～Ⅳ）以外
・金融機関（Ⅱ）…地方銀行
・金融機関（Ⅲ）…投資信託委託・投資顧問・投資会社・信用金庫単独
・金融機関（Ⅳ）…信用組合

※2 金融機関（Ⅰ）に該当する三井住友信託銀行株式会社の会員資格が、組織再編に伴い金融機関（Ⅲ）に該当する三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社へ引き継がれたため、金融機関（Ⅰ）退会、金融機関（Ⅲ）入会の欄に 1 社ずつ加算している

＜法人・団体会員内訳＞ 入会順

【プレミアム法人会員】

- 株式会社クレアン
- KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社（三井住友信託銀行株式会社から会員資格引継）
- 株式会社インテグレックス
- ニッセイアセットマネジメント株式会社
- EY 新日本有限責任監査法人
- Arabesque Asset Management Ltd.
- NN インベストメント・パートナーズ株式会社
- コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
- アセットマネジメント One 株式会社（2018 年 4 月入会）
- ＳＯＭＰＯリスクマネジメント株式会社（2018 年 4 月入会）
- アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社（2018 年 6 月入会）

【一般法人会員】

- 株式会社セブン＆アイ・ホールディングス
- 株式会社日本政策投資銀行
- 株式会社大和証券グループ本社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- NPO 法人エティック
- NPO 法人環境エネルギー政策研究所
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- PwC サステナビリティ合同会社
- CDP
- FTSE Russell
- 一般財団法人日本経済研究所
- 一般社団法人投資信託協会
- ブルームバーグ　エル・ピー
- 株式会社エッジ・インターナショナル
- MSCI.Inc
- 損害保険労働組合連合会
- 株式会社 QUICK
- Hermes Equity Ownership Services
- 株式会社イースクエア
- ロイドレジスタージャパン株式会社
- トムソン・ロイター・ジャパン株式会社

・ NPO 法人日本ファンドレイジング協会
・ アムンディ・ジャパン株式会社
・ CSR デザイン環境投資顧問株式会社
・ S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
・ 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社
・ 一般社団法人 C4
・ 株式会社みずほフィナンシャルグループ
・ メリルリンチ日本証券株式会社
・ 公益財団法人　地球環境戦略研究機関（2018 年 4 月入会・相互会員）
・ 2° Investing Initiative（2018 年 4 月入会・相互会員）
・ 東京海上アセットマネジメント株式会社（2018 年 12 月入会）

２．2018 年度事業報告

①　開催イベント

7 月に開催のシンポジウムほか全 3 回のイベントを開催した。
開催テーマ、講演者、参加者数等は 5 ページの「2018 年度開催イベント一覧」の通り。

事業収入	45 千円（会員外参加の参加費）
事業支出	100 千円（謝礼等）
参加者	のべ 119 名

②　日本サステナブル投資白書 2017 の発行

3 月に日本語版を 11 月に英語版を発行した。日本語版については冊子を 2,000 部印刷･配布、英語版は PDF で公開した。日本語版は 2015 年度版より 500 部多く印刷し、協賛会社のみなさまにも配布にご協力いただいた。

編集・エディトリアルデザイン・英訳協力	株式会社エッジ・インターナショナル
特別協賛	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
一般協賛	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 CSR デザイン環境投資顧問株式会社 株式会社クレアン 株式会社日本政策投資銀行

助成　　公益財団法人トラスト未来フォーラム

事業収入 1,224 千円（協賛金・白書販売）
事業支出　787 千円（印刷費・発送費）

③ サステナブル投資残高アンケート調査

9 月に第 4 回目となるアンケート調査を実施した。調査結果は 2019 年春に公表予定の“Global Sustainable Investment Review 2018”への報告データとして利用した。詳細なレポート冊子は 2019 年 3 月頃に発行の予定。

	2016 年	2017 年	2018 年
サステナブル投資合計額(百万円)	56,256,600	136,595,941	231,952,250
機関数	31	32	42
総運用資産残高に占める割合	16.8%	35.0%	41.7%

なお今回調査を進める中で、一部の機関投資家から資金の性格上、JSIF のサステナブル投資の基準・定義では回答が困難との説明を受けた。このため、アンケート調査でのサステナブル投資の定義を Global Sustainable Investment Review(GSIR)や PRI の定義と同レベルの内容にすることが妥当と判断し、以下の通り変更した。

【変更後】
「投資分析や投資ポートフォリオの決定プロセスに、環境、社会、ガバナンス（ESG）などの課題を勘案し、投資対象の持続性を考慮する投資」

【変更前】
1. 地球と社会の持続可能性に配慮した投資であること
2. 原則 1 の投資プロセスや社会的な効果を資金の供給者に対して開示していること

事業収入 ゼロ
事業支出　50 千円（アンケートシステム構築費等）

④ GSIA への入会

3 月に GSIA（Global Sustainable Investment Alliance）へ加盟し、以後 3 か月に 1 度の電話会議に会長の荒井が出席している。9 月にはサンフランシスコで開催された年に 1 度の定例会議へ会長の荒井、代表理事の河口が出席した。

事業収入 ゼロ

事業支出　734 千円（年会費・渡航費）

⑤ 早稲田大学大学院経営管理研究科の講座

会長の荒井、代表理事の河口が担当する講座「企業の社会的責任(CSR) と責任投資(SRI/ESG)」を 4 月から 7 月にかけて全 14 コマで実施した。

またこの事業での経験を生かし、環境省と共同で ESG 投資教育プログラムの創設を検討している。

事業収入、支出なし

各回の担当講師は 7 ページの「2018 年度開催イベント一覧」の通り。

⑥ ウェブサイト、Twitter による情報発信

個人向け金融商品のサステナブル投資残高の公表

サステナブル投資に関する一般向けの情報提供として、公開情報より個人向け金融商品の一覧をまとめ、３，６，９，１２月末時点の投資残高をウェブサイトで発表している。

なお 2019 年 1 月に投資信託協会がアンケート調査によりまとめた ESG 関連ファンドの統計（純資産総額とファンドの本数）が発表されている。現在では多くの運用会社がリサーチの一環として ESG 評価に取り組んでおり、目論見書などの公開情報からは ESG 投資のファンドとは分からないものも含まれる。このため JSIF の発表とは残高が大きく異なる。

個人向け金融商品の残高集計協力

株式会社 QUICK（投資信託)、大和証券株式会社（債券）

ウェブサイトの訪問者数

ウェブサイトの年間訪問者数は 22,546 名で前期に比べて減少した（前期は 30,481 名)。前期は新聞やテレビで「ESG 投資」が取り上げられるたびに、JSIF ウェブサイトへのアクセスが急増したが、今期は目立った動きがなかった。

Twitter の運用

利用者の閲覧環境によってはウェブサイトが開けないことがあるため、最新情報の発信に利用している。期末現在フォロワー数 462（前期末は 364）

事業収入　ゼロ

事業支出　37 千円

以上

2018年度 開催イベント一覧

セミナー

開催日	テーマ	講師、登壇者(敬称略)	会場	参加数(うち会員)
2018/3/12	**スパークスが考えるアクティブESG投資とは？**	・谷脇栄秀(スパークス・グリーンエナジー＆テクノロジー株式会社 代表取締役) ・水谷光太(スパークス・アセット・マネジメント株式会社 シニアアナリスト)	㈱エッジ・インターナショナル セミナールーム	24 (17)
2018/4/27	**第3回サステナブル投資残高アンケート調査の結果説明会**	荒井勝(JSIF会長)	㈱エッジ・インターナショナル セミナールーム	17 (13)

シンポジウム

開催日	テーマ	講師、登壇者(敬称略)	会場	参加数(うち会員)
2018/7/26	**サステナブル投資を長期投資のあたりまえにしよう！**	開会挨拶・趣旨説明 荒井 勝(JSIF会長) 来賓挨拶 大場 昭義(一般社団法人日本投資顧問業協会 会長) 基調講演 中井 徳太郎(環境省) アセットクラス別の動向 株式　林 寿和(ニッセイアセットマネジメント株式会社) 債券　林 礼子(メリルリンチ日本証券株式会社) ディスカッション 中井 徳太郎(環境省) 林 寿和(ニッセイアセットマネジメント株式会社) 林 礼子(メリルリンチ日本証券株式会社) 金井 司(三井住友信託銀行株式会社) 進行　水口 剛(高崎経済大学／JSIF共同代表理事)	ニッセイアセットマネジメント㈱ セミナールーム	78 (48)

荒井会長が登壇した他団体・企業主催のセミナー等

開催日	テーマ	主催
2018/5/21	新時代の非財務情報開示のあり方に関する調査研究	一般財団法人企業活力研究所
2018/6/29	森林リスクと金融セクターの役割～東京五輪とインドネシアの違法伐採	レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN
2018/9/4	「責任ある企業行動とESG投資」シンポジウム	株式会社日本取引所グループ アラベスク・アセットマネジメント
2018/9/20	進化するESG経営	日経ESG経営フォーラム
2018/12/14	健康いきいき職場づくりフォーラム　冬季シンポジウム2018	公益財団法人日本生産性本部

2018年度 開催イベント一覧

早稲田大学大学院経営管理研究科「企業の社会的責任(CSR)と責任投資(SRI/ESG)」				
4月7日	CSR総論	河口　真理子	大和総研　調査本部	主席研究員
4月14日	ESG総論	荒井　勝	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)	会長
4月21日	エシカル消費総論	河口　真理子	大和総研　調査本部	主席研究員
5月12日	環境	金井　司	三井住友信託銀行㈱	フェロー役員 チーフ・サステナビリティ・オフィサー
5月19日	社会	後藤　敏彦	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)	最高顧問
5月26日	ガバナンスとエンゲージメント実務	荒井　勝	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム(JSIF)	会長
6月2日	PRI	森澤　充世	PRI事務局	ジャパン・ヘッド
6月9日	ESG評価	堀井　浩之	三井住友信託銀行㈱	スチュワードシップ推進部長
6月16日	世界の情報開示動向	足達　英一郎	㈱日本総合研究所	理事
6月23日	ESG評価	渡部　健司	MSCI ESG Research	シニア・アソシエイト
6月30日	グリーンボンド	徳田　健	大和証券㈱	デット・キャピタルマーケット部 上席課長代理
7月7日	環境不動産	平松　宏城	㈱ヴォンエルフ	代表取締役
7月14日	年金とESG	引間　雅史	上智大学	特任教授
7月21日	エンゲージメント	山﨑　明美	日本シェアホルダーサービス㈱	研究開発/ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ部部長 ﾁｰﾌｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ

書式第１７号（法第２８条関係）

平成30年度　財産目録

平成30年12月31日現在

特定非営利活動法人　日本ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ投資ﾌｫｰﾗﾑ

（単位：円）

科目		金額		
Ⅰ　資産の部				
1　流動資産				
現金預金				
手元現金		0		
三井住友銀行赤坂支店	普通預金	6,155,618		
三菱東京UFJ銀行赤坂見附支店	普通預金	0		
未収金				
個人会費		50,000		
棚卸資産				
		0		
流動資産合計			6,205,618	
2　固定資産				
(1)有形固定資産				
什器備品		0		
有形固定資産計		0		
(2)無形固定資産				
無形固定資産計		0		
(3)投資その他の資産計				
投資その他の資産計		0		
固定資産合計			0	
資産合計				6,205,618
Ⅱ　負債の部				
1　流動負債				
前受金				
		0		
未払費用				
GSIA会費		273,900		
仮受金				
		0		
預り金				
源泉所得税		139,422		
社会保険料		74,425		
流動負債合計			487,747	
2　固定負債				
固定負債合計			0	
負債合計				487,747
正味財産				5,717,871

書式第１５号（法第２８条関係）

平成30年度 貸借対照表

平成30年１２月３１日現在

特定非営利活動法人　日本ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ投資ﾌｫｰﾗﾑ

（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金預金	6,155,618		
棚卸資産	0		
未収金	50,000		
流動資産合計		6,205,618	
２　固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			6,205,618
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
未払費用	273,900		
前受金	0		
仮受金	0		
預り金	213,847		
流動負債合計		487,747	
２　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			487,747
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産			
当期正味財産増減額			
正味財産合計			5,717,871
負債及び正味財産合計			6,205,618

書式第１３号（法第２８条関係）

平成30年度　活動計算書

平成30年 1月 1日から　平成30年12月31日まで

特定非営利活動法人　日本ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ投資ﾌｫｰﾗﾑ

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員受取会費			
団体会員			
金融機関	2,700,000		2,700,000
一般法人	1,350,000		1,350,000
公的・中間機関	900,000		900,000
NPO・NGO	30,000		30,000
個人会員	615,000		615,000
正会員受取会費計		5,595,000	
2　受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3　受取助成金等			
受取民間助成金	500,000		500,000
4　事業収益			
勉強会活動	45,000		45,000
ホームページ運営活動	0		0
シンポジウム活動	0		0
SRI普及・啓発活動	1,224,000		1,224,000
5　その他収益			
受取利息	53		53
雑収益	0		0
経常収益計		7,364,053	7,364,053
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,080,000		2,080,000
退職給付費用	0		0
福利厚生費			0
人件費計		2,080,000	2,080,000
(2)その他経費			
売上原価	0		0
会議費	0		0
旅費交通費	460,366		460,366
通信運搬費	143,923		143,923
減価償却費	0		0
消耗備品費	31,322		31,322
印刷製本費	712,800		712,800
研修図書費	0		0
諸謝金	101,208		101,208
交際費	110,000		110,000
諸会費	273,900		273,900

支払手数料	7,108		7,108
会場費	0		0
業務委託費	0		0
その他経費計		1,840,627	1,840,627
事業費計		3,920,627	3,920,627
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	1,120,000		1,120,000
退職給付費用	0		0
法定福利費	482,922		482,922
福利厚生費	37,415		37,415
人件費計		1,640,337	1,640,337
(2)その他経費			
会議費	14,653		14,653
旅費交通費	37,120		37,120
通信運搬費	75,826		75,826
消耗備品費	189,193		189,193
印刷製本費	36,850		36,850
賃借料	600,000		600,000
交際費	1,566		1,566
減価償却費	0		0
諸会費	10,000		10,000
支払手数料	63,570		63,570
租税公課	1,000		1,000
業務委託費	228,960		228,960
雑費	0		0
その他経費計		1,258,738	1,258,738
管理費計		2,899,075	2,899,075
経常費用計		6,819,702	6,819,702
当期経常増減額		544,351	544,351
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			0
経常外費用計		0	0
経理区分振替額		0	0
税引前当期正味財産増減額		544,351	544,351
法人税、住民税及び事業税		0	0
当期正味財産増減額		544,351	544,351
前期繰越正味財産額			5,173,520
次期繰越正味財産額			5,717,871

書式第１６号（法第２８条関係）

平成30年度　　計算書類の注記

特定非営利活動法人　日本ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙ投資ﾌｫｰﾗﾑ

１．　重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日　2011年11月20日一部改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。

（1） 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっています。

（2） 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。
また取得価額10万円以上20万円未満の一括償却資産については3年間で均等償却しています。

（3） 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。
また、計上額の算定方法は「3.施設提供等の物的サービス受入の内訳」に記載しています。

（4） 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(5) 会費収入の計上基準

会費収入は現金基準で計上しています。
個人会費のクレジットカード決済については決済日で計上しています。

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	勉強会活動	シンポジウム活動	ホームページ運営活動	SRI普及・啓蒙活動	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
１．受取会費	0	0	0	0	0	5,595,000	5,595,000
２．受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0
３．受取助成金等	0	0	0	500,000	500,000	0	500,000
４．事業収益	45,000	0	0	1,224,000	1,269,000	0	1,269,000
５．その他収益	0	0	0	0	0	53	53
経常収益計	45,000	0	0	1,724,000	1,769,000	5,595,053	7,364,053
Ⅱ　経常費用							
（1）人件費							
給料手当					2,080,000	1,120,000	3,200,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	482,922	482,922
福利厚生費	0	0	0	0	0	37,415	37,415
人件費計	0	0	0	0	2,080,000	1,640,337	3,720,337
（2）その他経費							
売上原価	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	14,653	14,653
旅費交通費	0	0	0	460,366	460,366	37,120	497,486
通信運搬費	0	0	36,119	107,804	143,923	75,826	219,749
消耗備品費	0	0	0	31,322	31,322	189,193	220,515
印刷製本費	0	0	0	712,800	712,800	36,850	749,650
研修図書費	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	110,000	110,000	1,566	111,566
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	600,000	600,000
諸謝金	96,608	0	0	4,600	101,208	0	101,208
諸会費	0	0	0	273,900	273,900	10,000	283,900
支払手数料	0	0	1,080	6,028	7,108	63,570	70,678
租税公課	0	0	0	0	0	1,000	1,000
会場費	0	0	0	0	0		0
業務委託費	0	0	0	0	0	228,960	228,960
雑費	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	96,608	0	37,199	1,706,820	1,840,627	1,258,738	3,099,365
経常費用計	96,608	0	37,199	1,706,820	3,920,627	2,899,075	6,819,702
当期経常増減額	-51,608	0	-37,199	17,180	-2,151,627	2,695,978	544,351

3． 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法
なし	0	

4． 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は 5,717,871円ですが、そのうち 0円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は 5,717,871円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計	0	0	0	0	

5． 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝ	161,784	0	0	161,784	161,784	0
無形固定資産				0		0
投資その他の資産				0		0
合計	161,784	0	0	161,784	161,784	0

6． 借入金の増減内訳

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

7． 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
（活動計算書）		
活動計算書計	0	0
（貸借対照表）		
貸借対照表計	0	0

8． その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

  給与手当について、65%を事業費に按分し、残り35%を管理費としています。

- その他の事業に係る資産の状況

  記載事項はありません。

2019年2月8日

監　査　報　告　書

特定非営利活動法人　日本サステナブル投資フォーラム
理　事　会　　御　中

監事　阿部　和彦

監事　栗原　祐介

私たちは、特定非営利活動法人　日本サステナビリティ投資フォーラム（以下、「同法人」という。）の2018年1月1日から2018年12月31日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1. 財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2. 事業報告の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に違反する重要な事項は認められなかった。

以上

2018年度特定非営利活動に係る事業会計収支実績表

2018年1月1日～12月31日

特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム

（単位：円）

科目	細目	18年度実績	19年度予算額	同実績	備考
Ⅰ経常収入の部					
1.会費収入		**5,345,000**	**5,290,000**	**5,595,000**	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口／18会員)	2,350,000	2,250,000	2,700,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口／11会員)	950,000	1,050,000	1,350,000	※海外法人は1口5万円
	公的・中間機関会員(1口10万×1～2口／9会員)	1,300,000	1,300,000	900,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口／6会員)	40,000	40,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口／74会員)	705,000	650,000	615,000	※学生は1口5000円
2.事業収入		**23,000**	**1,830,000**	**1,769,000**	
	セミナー開催	23,000	30,000	0	
	シンポジウム開催	0	100,000	45,000	
	白書の協賛金・売上	0	1,200,000	1,224,000	
	助成金収入	0	500,000	500,000	
3.雑収入		**46**	**50**	**53**	
	受取利息、雑収入	46	50	53	
経常収入合計(A)		**5,368,046**	**7,120,050**	**7,364,053**	
Ⅱ経常支出の部					
1.事業費		**2,472,589**	**3,905,000**	**3,920,627**	
事業運営費	勉強会・金融機関ダイアログ	92,475	100,000	0	会場費・消耗品等
	シンポジウム	0	200,000	96,608	
	機関投資家向けアンケート	336,129	60,000	50,000	システム費
	白書2017の印刷・発送	0	800,000	786,884	印刷、発送費
	連携による活動強化	10,000	700,000	869,936	GSIA会費・渡航費、懇親会費等
	ホームページ運営	18,985	30,000	37,199	
	給料手当(事業)	2,015,000	2,015,000	2,080,000	給料の65%を按分
2.管理費		**2,802,304**	**2,830,000**	**2,899,075**	
事務局運営費	給料手当	1,085,000	1,085,000	1,120,000	給料の35%を按分
	法定福利費	466,568	480,000	482,922	社会保険料
	旅費交通費	70,924	65,000	37,120	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	業務委託費	228,960	230,000	228,960	税理士報酬
	支払手数料	64,683	70,000	63,570	振込手数料・カード決済手数料
	通信費	45,437	50,000	75,826	電話・郵便代
	消耗備品費	148,827	150,000	189,193	
	その他経費	91,905	100,000	101,484	
経常支出合計(B)		**5,274,893**	**6,735,000**	**6,819,702**	
当期収支差額(A)-(B)		93,153	385,050	544,351	

2019年度 事業計画・予算（案）

自　2019　年　1　月　1　日
至　2019　年　12　月　31　日

特定非営利活動法人

日本サステナブル投資フォーラム

2019年度 年間事業計画(案)

2019年1月1日～12月31日

定款第５条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営管理	実施予定時期・回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（単位：円）
セミナー開催	勉強会の開催	会員を中心に講師を招き、参加者へ最新情報を提供すると共に、会員同士の情報交換の場とする。	運営委員事務局	通年	東京都	数名	SRI･ESG関係者をはじめサステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	50,000
	ダイアログの開催	会員を対象としたダイアログを企画し、交流の場とする。 ・金融機関のSRI・ESG投資の関係者を対象とした議論の場 ・ESG投資家とCSR/IR担当者との対話の場 ・運用会社と個人投資家との対話の場	運営委員事務局	不定期	東京都	数名	JSIF会員の金融機関	
アンケートの実施	サステナブル投資残高アンケート調査	2018年の調査結果のレポート冊子を発行する。 2019年9月に第5回目のアンケート調査を実施。 詳細レポートを「日本サステナブル投資白書2019」へ掲載する。	運営委員事務局	9～10月	東京都	数名	SRI･ESG関係者をはじめサステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	400,000
白書の発行の準備	サステナブル投資白書2019	2020年春の発行を目指し「日本サステナブル投資白書2019」の準備。	運営委員事務局	通年	東京都	約10名	SRI･ESG関係者をはじめサステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	0
連携による活動強化	海外との連携	前年度にGSIA（Global Sustainable Investment Alliance）に加盟。 海外SIFとの情報交換等を促進する。	運営委員事務局	通年	東京都	数名	SRI･ESG関係者をはじめサステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	1,000,000
	環境省との連携	PRI Academyを参考に環境省と共同でサステナブル投資の教育プログラムを作成する。	運営委員事務局	不定期	東京都	数名	SRI･ESG関係者をはじめサステナブル投資に関心を持つ不特定多数の人	
ホームページ運営	ホームページの運営･管理	中立的な立場で日本におけるSRI・ESG投資の最新情報等を提供する。 個人向け金融商品におけるサステナブル投資残高のデータ更新（四半期ごと）。 会員専用ページでセミナー資料を提供。	事務局	通年	-	1名	ウェブサイトに訪問する不特定多数の人	40,000
	Webを使った情報発信	Twitter、メールマガジンなどを活用し、セミナー開催情報などを発信する。	事務局	通年	-	1名	ウェブサイトに訪問する不特定多数の人	
小計								1,490,000
各事業推進に係る給料手当て								1,950,000
合計								**3,440,000**

2019年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書案

2019年1月1日～12月31日

特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム

（単位：円）

科目	細目	18年度予算額	同実績	19年度予算額	備考
Ⅰ経常収入の部					
1.会費収入		**5,290,000**	**5,595,000**	**5,790,000**	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口／18会員)	2,250,000	2,700,000	2,750,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口／11会員)	1,050,000	1,350,000	1,450,000	※海外法人は1口5万円
	公的・中間機関会員(1口10万×1～2口／9会員)	1,300,000	900,000	900,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口／6会員)	40,000	30,000	40,000	
	個人会員(1口1万×1口／74会員)	650,000	615,000	650,000	※学生は1口5000円
2.事業収入		**1,830,000**	**1,769,000**	**30,000**	
	セミナー開催	30,000	0	30,000	
	シンポジウム開催	100,000	45,000	0	
	白書の発行	1,200,000	1,224,000	0	
	助成金収入	500,000	500,000	0	
3.雑収入		**50**	**53**	**50**	
	受取利息、雑収入	50	53	50	
経常収入合計(A)		**7,120,050**	**7,364,053**	**5,820,050**	
Ⅱ経常支出の部					
1.事業費		**3,905,000**	**3,920,627**	**3,440,000**	
事業運営費	勉強会・ダイアログ	100,000	0	50,000	
	シンポジウム	200,000	96,608	0	
	機関投資家向けアンケート	60,000	50,000	400,000	レポート冊子印刷・発送等
	白書の印刷・発送	800,000	786,884	0	
	連携による活動強化	700,000	869,936	1,000,000	GSIA・PRIAcademy関連費用
	ホームページ運営	30,000	37,199	40,000	
	給料手当(事業)	2,015,000	2,080,000	1,950,000	給料の65%を按分
2.管理費		**2,830,000**	**2,899,075**	**2,810,000**	
事務局運営費	給料手当	1,085,000	1,120,000	1,050,000	給料の35%を按分
	法定福利費	480,000	482,922	480,000	社会保険料
	旅費交通費	65,000	37,120	50,000	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	業務委託費	230,000	228,960	230,000	税理士報酬
	支払手数料	70,000	63,570	70,000	振込手数料・カード決済手数料
	通信運搬費	50,000	75,826	50,000	電話・郵便代
	消耗備品費	150,000	189,193	180,000	
	その他経費	100,000	101,484	100,000	
経常支出合計(B)		**6,735,000**	**6,819,702**	**△6,250,000**	
当期収支差額(A)-(B)		385,050	544,351	429,950	

理事・監事候補者名簿

候補（任期･･･2019年4月1日～2021年3月31日）

役職	氏名（50音順・敬称略）	所属　※所属する組織は会員とは限りません。	報酬
理事	青木　修三	環境経営学会	無
代表理事	秋山　をね	株式会社インテグレックス	無
理事・会長	荒井　勝	特定非営利活動法人日本サステナブル投資フォーラム	無
理事	稲岡　稔	ブルーリッジ・アストリアス・インスティテュート	無
理事	梶原　伸洋	株式会社エッジ・インターナショナル	無
代表理事	河口　真理子	株式会社大和総研	無
理事	木内　孝	株式会社イースクエア	無
理事・最高顧問	後藤　敏彦	環境監査研究会	無
理事	薗田　綾子	株式会社クレアン	無
理事	竹ケ原　啓介	株式会社日本政策投資銀行	無
理事	林　礼子	メリルリンチ日本証券株式会社	無
理事	広瀬　悦哉	株式会社ＱＵＩＣＫ	無
理事	藤井　智朗	ニッセイアセットマネジメント株式会社	無
理事	堀井　浩之	三井住友トラスト･アセットマネジメント株式会社	無
代表理事	水口　剛	高崎経済大学	無
理事	宮城　治男	ＮＰＯ法人エティック	無
理事	森澤　みちよ	PRI、CDP	無
監事	阿部　和彦	PwCサステナビリティ合同会社	無
監事	栗原　祐介	ＫＰＭＧあずさサステナビリティ株式会社	無

特定非営利活動法人　日本サステナブル投資フォーラム　定款

新旧対照表

前期の総会でご提案いただいた反社会的勢力排除に関する規定を追加するものです。

新	旧
（入会） 第７条　本会の正会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を会長に提出するものとする。 ２　会長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。 ３　会員の入会資格は以下のとおりとする。 （１）　本会の目的に賛同するもの （２）　暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から５年を経過しないものを含む）、暴力団関係企業、団体またはこれらに密接した関係者、および過去に民事・行政問題等に関係し違法な行為・不当な要求を行った履歴のある者、その他これらの者に準じる者など（以下「反社会的勢力」という。）でないもの	（入会） 第７条　本会の正会員になろうとするものは、別に定める入会申込書を会長に提出するものとする。 ２　会長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。
（除名） 第９条　会員が次の各号のいずれかに該当するに至った場合には、当該会員にあらかじめ通知すると共に、事前に弁明の機会を与えたうえで、理事会の議決を経て、当該会員を除名することができる。 （１）　本会の定款に違反したとき （２）　本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為をしたとき （３）　公序良俗に反する行為もしくはその恐れのある行為をしたとき （４）　直接又は間接を問わず、反社会的勢力に与したとき （５）　その他前各号に準ずる行為をしたとき	（除名） 第９条　会員が次の各号のいずれかに該当するに至った場合には、当該会員にあらかじめ通知すると共に、事前に弁明の機会を与えたうえで、理事会の議決を経て、当該会員を除名することができる。 （１）　本会の定款その他の規則に違反したとき （２）　本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為をしたとき

※現状の定款全文はウェブサイトに掲載しております。→ http://japansif.com/180801teikan.pdf

2020年4月～法人会費体系の改定案

GSIA加盟に伴い海外の情報を入手する機会が増えたことで、英語が堪能な人材を採用し、会員様へ情報提供できる体制を整えることを検討しております。今後、運営委員会で検討を進めてまいりますが、現状の改定案について総会の場でみなさまのご意見をたまわりたく、総会資料に添付させていただきました。

現在の会費体系

(1)～(6)については一口100,000円とする

	会員構成	一般会員	プレミアム会員
(1)	一般法人	1口以上	3口以上
(2)	金融ホールディングカンパニー 及び以下(3)～(5)以外の金融機関	1口以上	5口以上
(3)	地方銀行	1口以上	3口以上
(4)	投資信託委託・投資顧問 ・投資会社・信用金庫単独	1口以上	2口以上
(5)	信用組合	1口以上	2口以上
(6)	公的機関・社団法人・財団法人など	1口以上	2口以上
(7)	NPO・NGO・年金基金など	一口￥10,000×1口以上	10口以上
(8)	国外法人 （主に日本国外で活動する企業または団体）	(1)～(6)に該当する 業態の法人は 国内会費の半額とする	同左

新会費体系（2020年4月1日予定～）※変更点に色付け

(1)～(9)については一口100,000円とする

	会員構成	一般会員	プレミアム会員
(1)	金融ホールディングカンパニー	**3口以上**	5口以上
(2)	都市銀行・信託銀行・地方銀行	1口以上	3口以上
(3)	生命保険・損害保険	1口以上	3口以上
(4)	証券会社・運用会社	1口以上	**3口以上**
(5)	投資助言・金融情報サービス業	1口以上	2口以上
(6)	(2)～(6)以外の金融事業を営む法人	1口以上	2口以上
(7)	経営コンサルティング業	1口以上	3口以上
(8)	公的機関・監査法人・社団法人など	1口以上	2口以上
(9)	(1)～(8)以外の一般法人	1口以上	3口以上
(10)	NPO・NGO・年金基金など	一口￥10,000×1口以上	10口以上
(11)	国外法人 （主に日本国外で活動する企業または団体）	(1)～(6)に該当する 業態の法人は 国内会費の半額とする	同左

FAX: 03-5423-6921

❖お願い❖

総会成立の定足数に満たない場合、法令により３月末までに再度開催の必要がございますので、ご欠席の場合は、委任状または書面表決票を３月14日(木)までにご提出いただきますようご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

JSIF 2018 年度 定例理事会・総会　**出 欠 票**

理事会・総会　□ ご 出 席　□ ご 欠 席 **→委任状または書面表決票へ**

懇親会　□ ご 出 席　□ ご 欠 席

※総会終了後、懇親会を実施いたします。（会費 3,000 円／20:00～2 時間）

◆ご署名

ご欠席の方のみ

JSIF 2018 年度 定例理事会・総会　**委 任 状**

私は、JSIF2018 年度 定例理事会・総会における審議について、

□いずれかに ✔ を付けて下さい。

□ 議長に委任します。

□ 会員 ：（　　様）に委任します。

書面をもって表決される場合　⇒書面表決票の用紙をご利用下さい。

◆ご署名

＊定款第 26 条　総会に出席できない正会員は、予め通知された事項について、書面をもって表決し、または出席する正会員を代理人として表決を委任することができる。

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）事務局
TEL: 070-6977-2354　E-mail: jsif.jp.net@gmail.com

欠席の場合の書面表決（※）はこの用紙をご利用ください。各議事右括弧内の可否いずれかに〇をつけてご署名になり、事務局までＦＡＸ又は Email でご返信くださいますようお願いいたします。

（※定款第 26 条　総会に出席できない正会員は、予め通知された事項について、書面をもって表決し、または出席する正会員を代理人として表決を委任することができる。）

JSIF 平成 29 年度 定例理事会・総会　**書 面 表 決 票**

私は、JSIF 2018 定例理事会・総会における審議について、下記の通り、書面をもって表決します。

【資料 No.1～10】

（1）	2018 年度 事業報告 【NO.1】	（ 可 ・ 否 ）
（2）	2018 年度 収支決算 【NO.2～7】	（ 可 ・ 否 ）
（3）	2019 年度 事業計画案【NO.8】	（ 可 ・ 否 ）
（4）	2019 年度 収支予算案【NO.9】	（ 可 ・ 否 ）
（5）	理事選出議案 【NO.10】	（ 可 ・ 否 ）
（6）	定款変更議案 【NO.11】	（ 可 ・ 否 ）

……

ご署名：

特定非営利活動法人 日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）事務局
TEL: 070-6977-2354　E-mail: jsif.jp.net@gmail.com